

【CMMC 2.0 Level2】中堅中小企業の準拠を加速する「3つの支援プラン」開始

—フルサポートから自走支援まで。米軍基地内工事・製造現場の実務に即した「作成指針の提示」で、確実な体制構築をバックアップ—

一般社団法人日本セキュリティ格付機構（略称：JaSRO、本社：東京都中央区、代表理事 三好 宗一郎）は、米軍基地内での施設工事・設備メンテナンス業者、エンジニアリング会社、および工場を有する製造会社（中堅中小企業を含む）を対象に、**CMMC 2.0（サイバーセキュリティ成熟度モデル認証第2版）準拠支援サービス**の本格的な提供を開始いたします。

昨今、これらの業種の中堅中小企業からの問い合わせが急増していることを踏まえ、業種固有の課題（施設・現場特有の物理的管理、OT/IT ネットワーク分離、製造ライン維持との両立等）に特化した、現実的かつ費用対効果の高い支援メニューをご提供します。なお、JaSRO は米国の公認第三者審査機関（C3PAO）である Komplete 社（Cyber-AB 公認 C3PAO）と提携しており、C3PAO 第三者審査が必要な場合も一貫した支援体制でお客様をサポートいたします。

1. 背景 – DoD の取組と日本国内への影響

米国国防総省（DoD）は、防衛産業基盤（DIB）全体のサイバーセキュリティ水準を強化すべく、CMMC 2.0 の規則制定を二段階で完了させました。「プログラム規則」（32 CFR Part 170）が 2024 年 12 月 16 日に発効し CMMC の構造・評価プロセス・実施メカニズムを確立。続いて「取得規則」（48 CFR Parts 204, 212, 217, 252 / DFARS 改正）が 2025 年 9 月 10 日に連邦官報へ公告され、**2025 年 11 月 10 日に発効**しました。DoD の契約担当官は CMMC 要件を新規調達に組み込む権限を正式に付与され、Phase 1 の強制適用が開始されています。

フェーズ	時期	主な要件・内容
Phase 1	2025 年 11 月 10 日～ 2026 年 11 月 9 日	Level 1・Level 2 の年次自己評価が新規 DoD 契約条件として適用開始。SPRS 登録（スコア・UID（SAM.gov 発行の UEI 等））必須。DoD の裁量で Level 2 C3PAO 審査を特定高優先度契約に適用可能。
Phase 2	2026 年 11 月 10 日～ 2027 年 11 月 9 日	新規 CUI 取扱契約において Level 2 の C3PAO 第三者審査が義務化。DoD の裁量で Level 3（DIBCAC 高度認証）審査を特定プログラムへ先行導入可能。
Phase 3	2027 年 11 月 10 日～ 2028 年 11 月 9 日	2026 年 11 月 10 日以前に締結された既存契約へも Level 2 C3PAO 審査が義務適用（オプション行使・延長時を含む）。Level 3 審査の適用対象が拡大。
Phase 4	2028 年 11 月 10 日以降	FCI・CUI を取り扱う全 DoD サプライチェーン契約へ CMMC 要件が完全適用。例外なし（COTS 品のみの契約を除く）。

日本国内においても、防衛装備庁が 2023 年 4 月から適用を開始した「防衛産業サイバーセキュリティ基準」は NIST SP 800-171 と同水準の要求事項を規定しており、米軍基地・DoD のサプライチェーンに関わる日本企業にとって CMMC 対応の準備は急務です。特に、**2026 年 11 月 10 日の Phase 2 開始まで 1 年を切った現在**、C3PAO 第三者審査の準備には 6～12 か月を要するとされており、早期着手が不可欠です。

【JaSRO への問い合わせ状況】

近年、米軍基地内工事・メンテナンス業者、エンジニアリング会社、工場を有する製造会社（中堅中小企業を含む）からの問い合わせが顕著に増加しています。現場への資機材・人員の持ち込み管理、OT 機器・レガシーシステムの分離対応、多拠点・分散環境でのエビデンス収集など、業種特有の課題に対応した支援ニーズが高まっており、本サービスはこれらのニーズに直接応えるものです。

2. サービス概要 – 業種特化型の3カテゴリ

本サービスは、対象業種ごとの現場特性を踏まえた3つのカテゴリで構成されます。いずれも「影響範囲の最小化（エンクレープ化）」を基本戦略とし、中堅中小企業でも現実的なコストと期間で準拠を目指せる設計です。C3PAOによる第三者審査が必要な場合は、業務提携先のKompleye社による審査と、JaSROによる受審支援を組み合わせた対応を選択いただけます。

(1). 米軍基地内施設工事・設備メンテナンス業向け事例

- ・ 施設・建物図面（CUI）の物理的管理フローの整備と管理台帳作成支援
- ・ 現地入場者・持込端末（タブレット等）の管理体制構築
- ・ VLAN・物理遮断による評価対象エリアの最小化（エンクレープ化）設計
- ・ 協力会社・下請けを含むサプライチェーン管理体制の整備
- ・ SPRS 自己評価スコア算出（DoD Assessment Methodology 準拠）・登録伴走

(2). エンジニアリング会社向け事例

- ・ プロジェクト情報・設計データ（CUI）の識別とデータフロー可視化
- ・ 多拠点・リモートワーク環境を想定したSSP（システムセキュリティ計画）策定
- ・ クラウド・SaaS ツール利用時のCUI境界定義と統制設計
- ・ 顧客（プライムコントラクター）への自己評価証拠提供支援
- ・ POA&M（行動計画・マイルストーン）の作成と進捗管理

(3). 工場を有する製造会社向け事例

- ・ 工場現場（OT環境）の現地視察・IT/OTネットワーク分離戦略の策定
- ・ レガシー制御端末・検査装置（Windows 7/10等）に対する代替統制の設計
- ・ 図面・USBメモリ等可搬メディアの運用・廃棄記録整備
- ・ 現場作業員向け平易な教育プログラム・運用マニュアルの作成
- ・ 製造ライン停止を最小化する段階的実装計画の立案

3. サービス内容（代表例）

サービス項目	概要
a. CMMC 2.0 Level 2 自己評価準拠対策支援	年次自己評価ルートを選択する中堅中小企業向け。ギャップ分析からSPRS登録まで一貫サポート。
b. 第三者審査（C3PAO）受審支援	模擬評価（Mock Assessment）の実施、およびC3PAOによる本審査への受審対応同席・補助支援を行う。
c. SSP・POA&M作成支援	業種特性を反映したシステムセキュリティ計画ドラフト作成および行動計画（POA&M）の策定・管理。
d. NIST SP 800-171 準拠 規程・運用手順書の作成	基本規程テンプレート提供とカスタマイズ。現場向け平易な運用マニュアルの作成も含む。
e. エンクレープ化設計・OT/IT分離支援	CUI取扱範囲の最小化による審査対象の絞り込み。VLAN・物理的分離の設計・実装支援。
f. エビデンス収集・内部監査支援	システムログ抽出・運用記録のファイリングから内部監査の準備・実施まで。
g. SPRSスコア登録・オンライン登録伴走	DoD Assessment Methodologyに基づくスコア算出・妥当性確認、SPRSへの登録作業を伴走支援。
h. サプライチェーン・協力会社対応支援	下請け・協力会社のCMMC準拠状況の把握、アンケート設計、CMMC対応支援。

【選べる3つの支援プラン】

貴社のリソースや予算に合わせて、最適な投資対効果を選択いただけます。

(1) セルフプラン（雛形提供）

自社に専門人材がおり、コストを抑えて自力で構築・運用したい企業向け。

(2) アドバイザリープラン（伴走支援）

定期的な面談と作成指針の提示により、「自社でやり切る」体制構築を確実なものにしたい企業向け。

(3) フルサポートプラン（実務代行）

現状分析から SSP 作成代行、模擬評価まで、専門家が実務を全面的に支援し、早期準備を目指す企業向け。

※ 上記サービスのお見積りは個別にご提示いたします。ヒアリングの上、業種・規模・拠点数に応じたプランを作成いたします。

4. 業務提携先のご紹介 – Kompleye 社（C3PAO）

JaSRO は米国の公認第三者審査機関（C3PAO）である Kompleye 社（本社：米国バージニア州レストン）と業務提携しています。C3PAO による第三者審査が必要な場合は、JaSRO が準備・評価支援を、Kompleye 社が本審査を担当する分担体制により、受審から指摘事項対応まで一貫してサポートいたします。

● 米国 Kompleye 社の CMMC サービス：<https://www.kompleye.com/cmmc/>

5. その他関連サービス

JaSRO は以下の関連サービスも提供しております。CMMC 対応と整合的な形での実施が可能です。

● 米国基準（NIST SP 800-171/172 等）情報セキュリティ格付け

https://www.jasro.org/news/pdf/JaSRO_NewsRelease_20260115.pdf

https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP646952_Y2A221C2000000/

● 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）登録支援

http://jasro.org/news/pdf/JaSRO_NewsRelease_20221026.pdf

● 経済安全保障推進法に対応した「特定重要設備」向け情報セキュリティ対策支援および第三者証明サービス

https://www.jasro.org/news/pdf/JaSRO_NewsRelease_20260121.pdf

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4c2c2bb555d301d909cac888fa19f2773f6386c>

● 米国 Kompleye 社との提携による CMMC 2.0 対策支援サービス開始（2023 年 10 月）

https://www.jasro.org/news/pdf/JaSRO_NewsRelease_J_20231030.pdf

6. お問い合わせ先

個別のお問合せは Web 会議システム等にて随時承ります。以下宛にお気軽にご連絡ください。

機関名	一般社団法人日本セキュリティ格付機構	JaSRO（Japan Security Rating Organization）
担当部署	企画部 CMMC 担当	
E-mail/Web	info@jasro.org / http://www.jasro.org/	

〈JaSRO について〉

- JaSRO は、世界初の情報セキュリティ格付を行う第三者評価機関です。
- 情報管理の対策水準を「格付」で確かめ合う社会システム作りに取り組んでいます。
- 政府情報システムのセキュリティ評価制度（ISMAP）対応の構築支援・内部監査支援を行っています。
- 政府ガイドライン、NIST SP 800-171/172 等への対応の構築支援・監査支援を行っています。

【本ニュースリリースに関するご注意】

本ニュースリリースに記載されている情報は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。本ニュースリリースに関するクレーム、訴訟その他の紛争、または第三者に関して生じうる一切の損害・損失・費用等については、JaSRO は責任を負いません。